

国勢調査、就業構造基本調査に見る主要都市の芸術家人口・所得推移

株式会社シー・ディー・アイ
cdi(at)cdij.org

1. はじめに

国勢調査（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）、就業構造基本調査（2007年、2022年）の結果を用い、可能な範囲で主要都市の芸術家人口の推移や所得分布を追った。以下では京都市に在住する「美術家」「音楽家」の数や所得の増減を他都市との比較で把握したい。

2. わが国の芸術家人口

国勢調査の職業小分類において、芸術家人口は表1に示す8種類で捉えられている（外国人を含む）。数値はわが国全体の推移を示すものである。2010年代中ごろに減少しているものが多いが、勝浦（2023）は「デザイナー」を除く人々を芸術家と定義して合算し、その人口が2000年をピークに減少した後、2015年から再び増加しているとする。前者についてはバブル崩壊から続く（リーマンショックを含む）景気低迷の影響とするが、コロナ禍を経た今後については予測がつかないと述べる。

一方、国勢調査ではわが国の人口50万人以上の都市について都市ごとの職業小分類别人口が公表されている。そこで本レポートでは、2000年以降の種類別の芸術家人口の推移を

表1. わが国の芸術家人口の推移（国勢調査）

職業小分類		2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
2005年以前	2010年以後					
文芸家、著述家	著述家	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130
彫刻家、画家、工芸美術家	彫刻家、画家、工芸美術家	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320
デザイナー	デザイナー	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100
写真家	写真家、映像撮影者	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170
音楽家（個人に教授するものを除く）	音楽家	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080
俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160
音楽家（個人に教授するものの）	個人教師（音楽）	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110
俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものの）	個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810
計	計	497,067	490,901	472,640	489,470	525,880

都市ごとに見る。表2は政令指定都市に特別区部（東京23区）を加えた21都市とその人口である（外国人を含む）。特別区部を含む首都圏の大都市は相互に密接な連絡があることから6都市を併合し、「首都圏都市部」として扱うことにした。

このように設定された16都市の8種類の芸術家のうち、一例として「著述家」人口の都市別推移を見たのが表3である。5回の調査結果の都市ごとの平均値に対する指数も算出し、推移を図1でグラフ化した。首都圏都市部の2000年データが落ちているのはさいたま市が未成立でデータが存在しないため、合併によってあらためて発足する静岡市、新潟市も同様の事情である。図1において京都市は黄色の太線で表現し、表も同色で着色した（首都圏都市部は茶色、大阪市は橙色の太線）。

表3、図1からわかるのは、一部の都市の変動が非常に大きいことである。たとえば北九州市の2005年の著述家は140人であったが、5年後の2010年には30人に減り、2015年には70人に戻している。公表されているように職業小分類別の集計は「抽出詳細集計」で行われており、50万人以上の市町村の抽出率は5.1%である。総務省統計局にも確認したところ、集計対象サンプルにおける「著述家」数に抽出率を掛け戻すことから、1人含まれるかどうかで約20人の差となる。このように人口規模の小さな都市では芸術家全体の人数もその場合の標本数も少なくなるが、仮に標本抽出の方法を単純任意抽出とした場合、標本誤差は概算で標本数の逆数の平方根に比例する。このためより少ない標本に対しては誤差が、ひいては標本をもとに推計した変動が大きくなる。よって国勢調査における芸術家人口の変動は、実際の変化と回答者による判断の揺れ、そして抽出誤差が合成されたものとして得られる。そこで以後の分析は次の方針で行う。

- ① 「首都圏都市部」のほか、人口が140万人を超える「札幌市」「名古屋市」「京都市」「大阪市」「神戸市」「福岡市」の計7都市に限定して比較する。

表2. 政令指定都市および特別区部（東京23区）の人口（国勢調査、2020年）

都道府県	都市	人口		都道府県	都市	人口
北海道	札幌市	1,973,395		愛知県	名古屋市	2,332,176
宮城県	仙台市	1,096,704		京都府	京都市	1,463,723
埼玉県	さいたま市	1,324,025		大阪府	大阪市	2,752,412
千葉県	千葉市	974,951	首都圏都市部（*）		堺市	826,161
東京都	特別区部（東京23区）	9,733,276		兵庫県	神戸市	1,525,152
神奈川県	横浜市	3,777,491		岡山県	岡山市	724,691
	川崎市	1,538,262		広島県	広島市	1,200,754
	相模原市	725,493		福岡県	福岡市	1,612,392
新潟県	新潟市	789,275			北九州市	939,029
静岡県	静岡市	693,389		熊本県	熊本市	738,865
	浜松市	790,718				

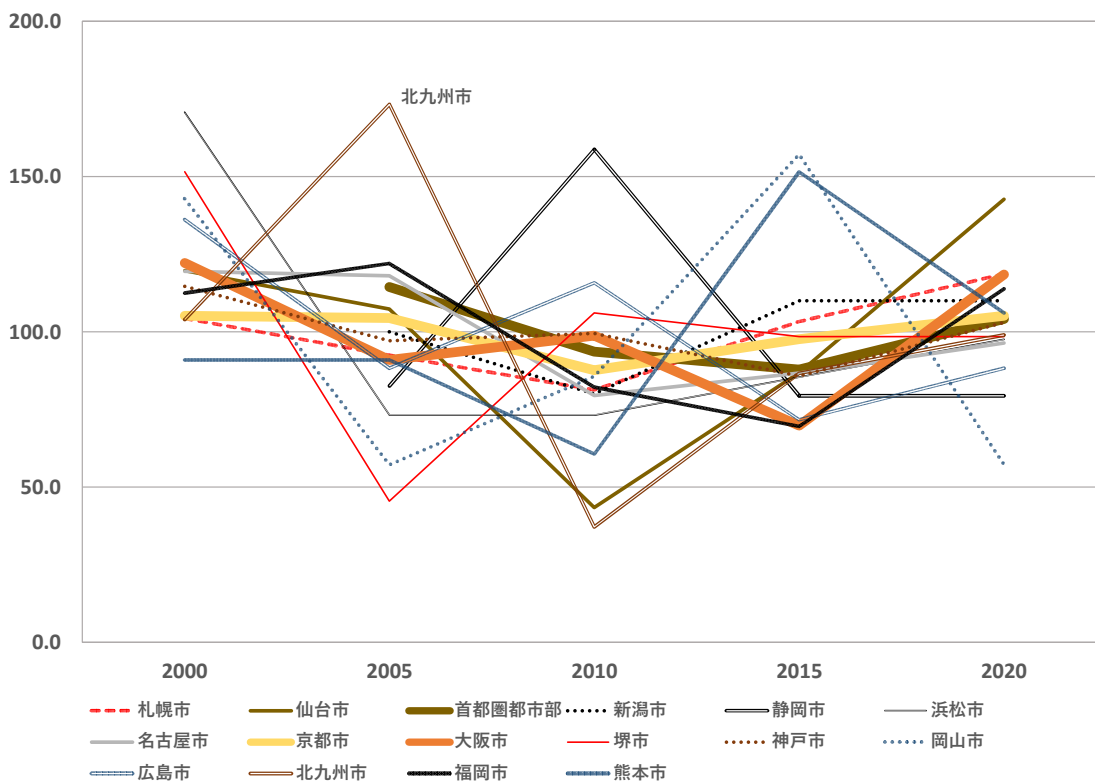
（*）人口合計18,073,498

表3. 「著述家」人口の都市別推移（実数、指数）

都市	実数					平均値	指数				
	2000	2005	2010	2015	2020		2000	2005	2010	2015	2020
札幌市	475	421	370	470	540	455.2	104.3	92.5	81.3	103.3	118.6
仙台市	193	173	70	140	230	161.2	119.7	107.3	43.4	86.8	142.7
首都圏都市部	—	12,829	10,500	9,850	11,680	11214.8	—	114.4	93.6	87.8	104.1
新潟市	—	100	80	110	110	100.0	—	100.0	80.0	110.0	110.0
静岡市	—	52	100	50	50	63.0	—	82.5	158.7	79.4	79.4
浜松市	140	60	60	70	80	82.0	170.7	73.2	73.2	85.4	97.6
名古屋市	496	490	330	360	400	415.2	119.5	118.0	79.5	86.7	96.3
京都市	420	417	350	390	420	399.4	105.2	104.4	87.6	97.6	105.2
大阪市	928	691	750	530	900	759.8	122.1	90.9	98.7	69.8	118.5
堺市	200	60	140	130	130	132.0	151.5	45.5	106.1	98.5	98.5
神戸市	334	283	290	250	300	291.4	114.6	97.1	99.5	85.8	103.0
岡山市	100	40	60	110	40	70.0	142.9	57.1	85.7	157.1	57.1
広島市	247	160	210	130	160	181.4	136.2	88.2	115.8	71.7	88.2
北九州市	84	140	30	70	80	80.8	104.0	173.3	37.1	86.6	99.0
福岡市	356	386	260	220	360	316.4	112.5	122.0	82.2	69.5	113.8
熊本市	60	60	40	100	70	66.0	90.9	90.9	60.6	151.5	106.1

※首都圏都市部=さいたま市・千葉市・特別区部（東京23区）・横浜市・川崎市・相模原市

図1. 「著述家」人口の都市別推移（指数）



- ② 変動要因の1つは当該都市の人口変化であり、都市間の比較のためにも15歳以上人口10万人あたりの芸術家人口を主な指標とする。また増減傾向を都市間で比較するため、5回の集計結果の平均値に対する指数化を行う。
- ③ 調査年による芸術家人口の変動には、その年に使用された調査票における設問の表現や芸術家の種類の名称変更が影響している可能性がある。よって②の結果をさらに全国集計の推移に照らして調整する。

図2. 主要7都市の芸術家人口（国勢調査、2020年）

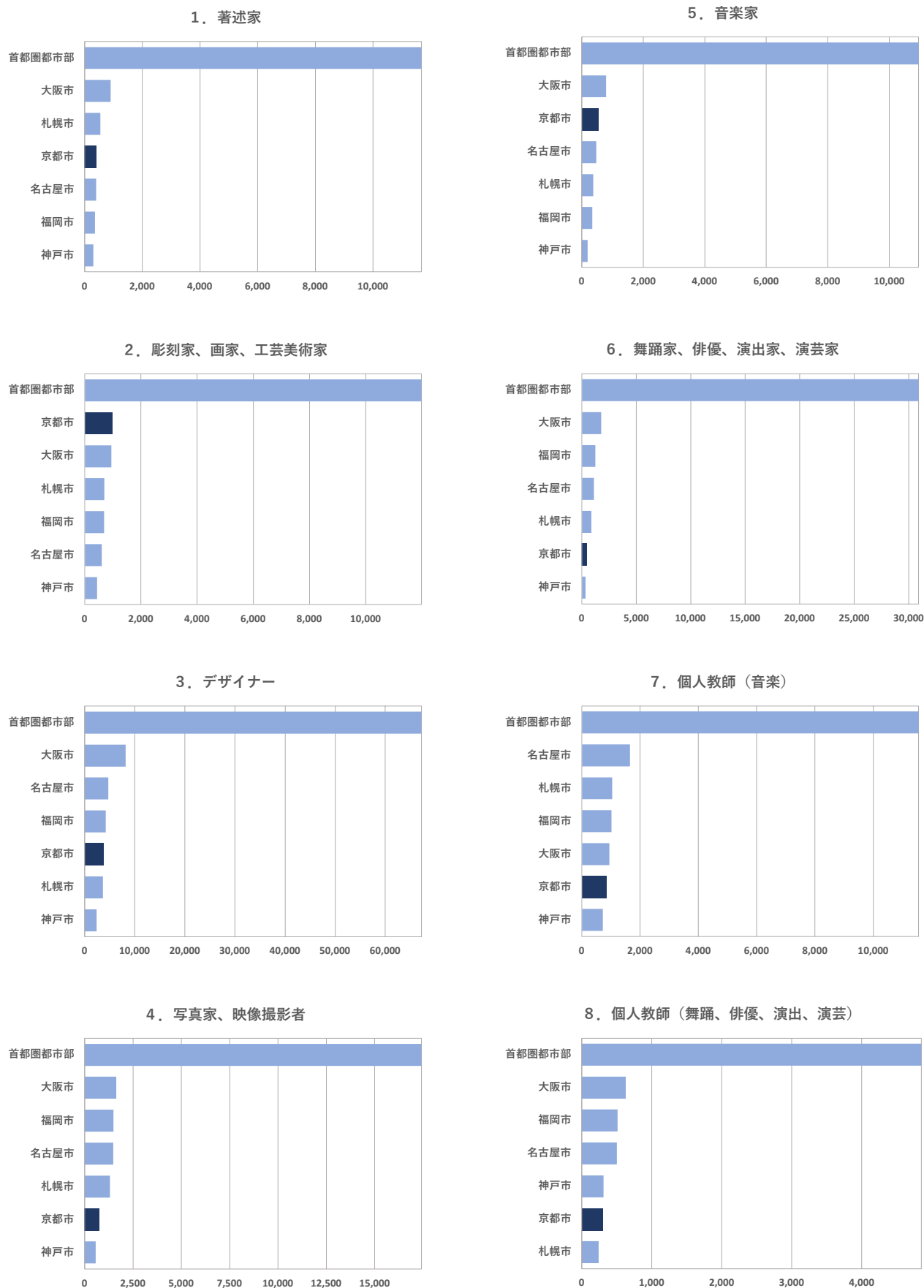
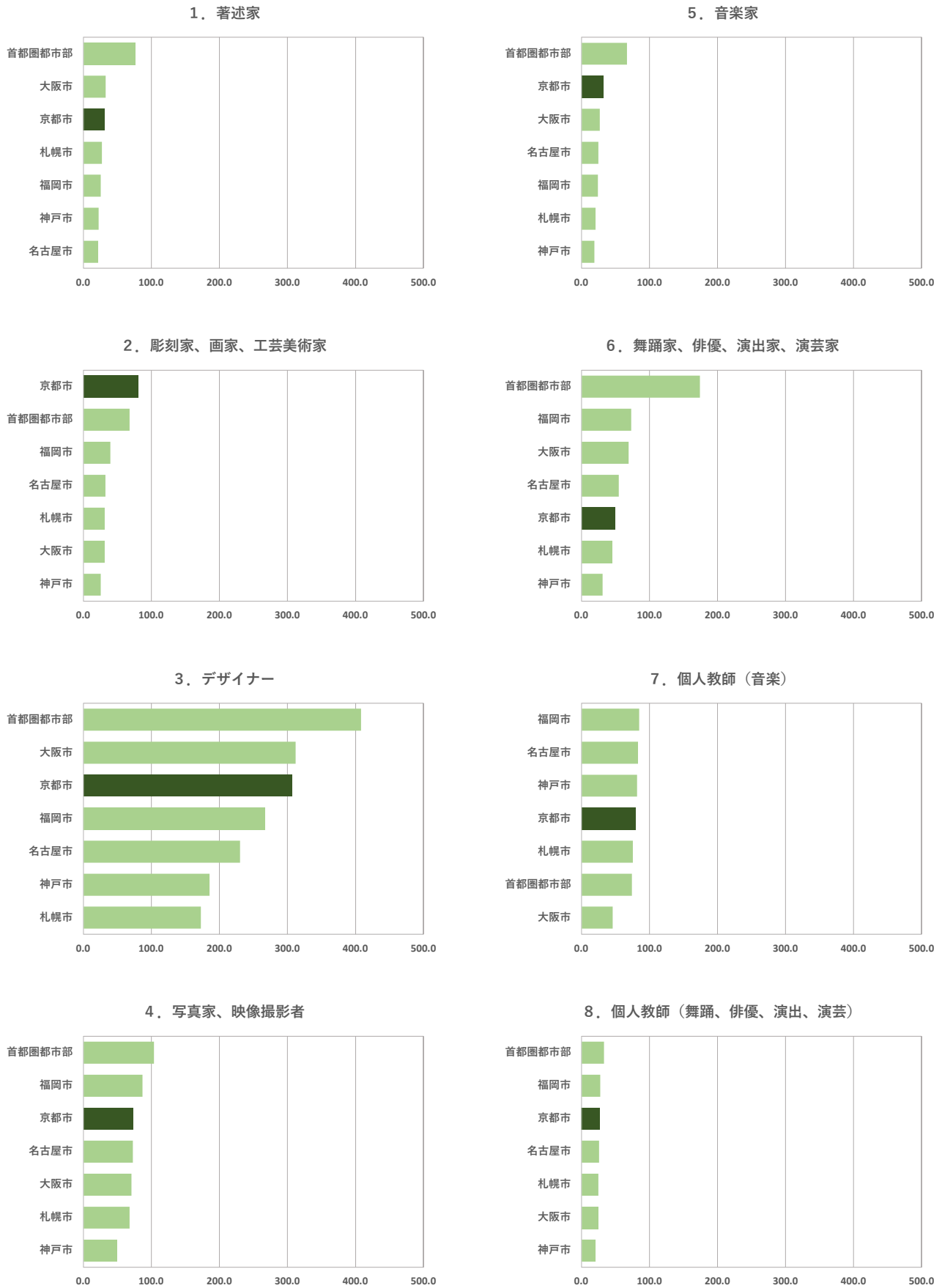


図3. 主要7都市の15歳以上人口10万人あたり芸術家人口（国勢調査、2020年）



以上の加工で真実に到達するとは限らないが、後述のように数字の動きに納得感を認めるケースもあり、注意して利用することは可能と考える。なお、対象7都市の2020年の芸術家人口および15歳以上人口10万人あたりの芸術家人口を図2、図3に示した。図2のグラフ右端は最大値（結果的に首都圏都市部の芸術家人口）、図3のそれは500.0人固定である。数値は付表1に示すが、10万人あたりの芸術家人口も誤差を伴う推定値であり、変動も順位に及びうるので注意を要する。別の調査年でも順位が安定しているかどうか見ることも一つの方法であり、首都圏都市部、京都市、大阪市に関して図5でこれを行う。

3. 芸術家人口の都市別推移

（1）人口10万人あたり芸術家人口の推移

表1に示した芸術家の種類別に芸術家人口と15歳以上人口10万人（外国人を含む、年齢不詳を除く）あたりのそれを算出し、後者について5回の調査結果の平均値を算出したうえ、都市ごとに指数化した結果を付表1に収める。その結果をグラフ化したのが図4である（指数の表示範囲は50.0～150.0）。ここから読み取れるのは次の諸点である（職業小分類の呼称は2010年以降のそれに統一した）。

- ① おしなべて増加傾向にあるのが「3. デザイナー」である。これはこの時期にWEBデザインが職として確立し、従事者が増加し、彼らがデザイナーのアイデンティティを持つようになったことで説明できるだろう。京都市では特に増加していないが、理由を推測できる材料はない。
- ② 逆に一貫して減少しているのが「7. 個人教師（音楽）」である。これは少子化の結果として子ども向けピアノ教室などのレッスン需要が減少したためと考えられる。京都市も同様の傾向である。
- ③ 「1. 著述家」は変動の大きい都市を除いたことで、全体の減少傾向とそれが2010年代前半に底を打った可能性が判明した。新聞・雑誌に代わってWEB、映像メディアの原稿需要が高まった結果と解釈されるが、国勢調査の範囲で証明する方法はなく、業界団体など他の情報と照合する必要がある。京都市の変動は相対的に小さい。
- ④ その他の芸術家については一貫した変動は認めがたい。しかし個別には、2010年以降の大阪市で「2. 彫刻家、画家、工芸美術家」、京都市で「5. 音楽家」の増加が見られる。前者は国立国際美術館の現在地への移転や北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ（KCV）の関与が考えられなくはないが、不詳である。

図4では増減に着目したが、2020年に限定して15歳以上人口10万人あたりの「2. 美術家」（以後、「彫刻家、画家、工芸美術家」の総称としてこれを用いる）、「5. 音楽家」人口の散布図を図5に作成した。全16都市のポジションを記しているが、都市名の付記は対象7都市のみとした。図3で示したように、京都市の10万人あたり美術家人口は首都圏都市部を抜いており、人口比で日本一の美術家密度を誇る。美術家人口そのものは首都圏都市部の10分の1以下であるが（付表1「2.」、図2）、コンパクトな地域性と集中度の高さは京都市独特の特徴である。

図4. 10万人あたり芸術家人口（都市別種類別の平均値に対する指数）の推移

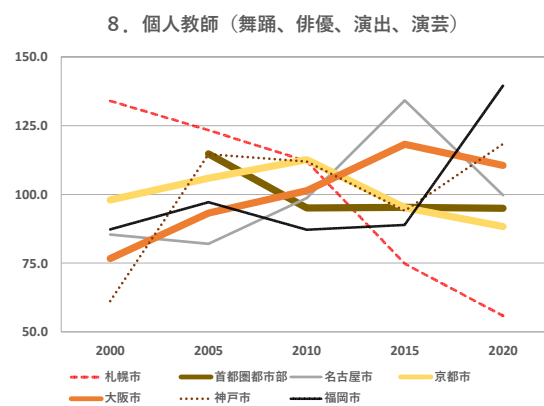
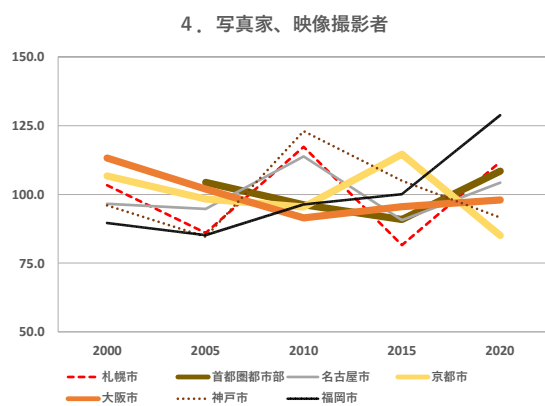
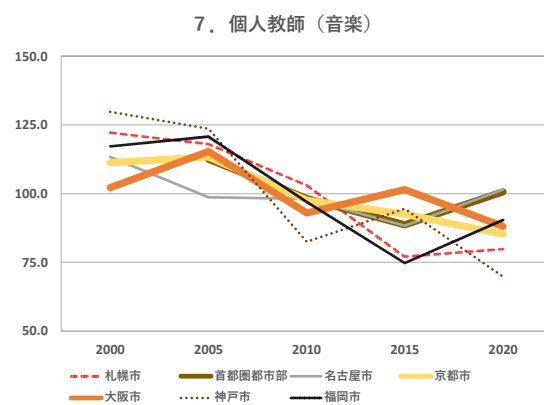
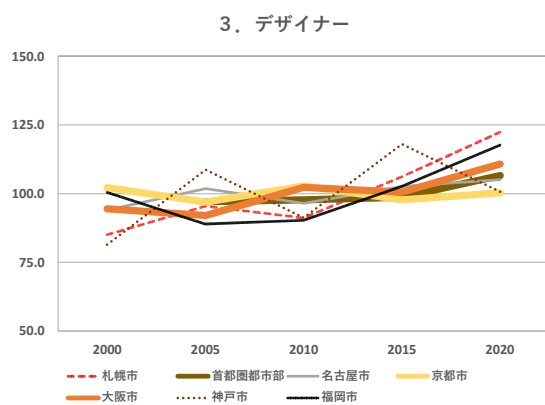
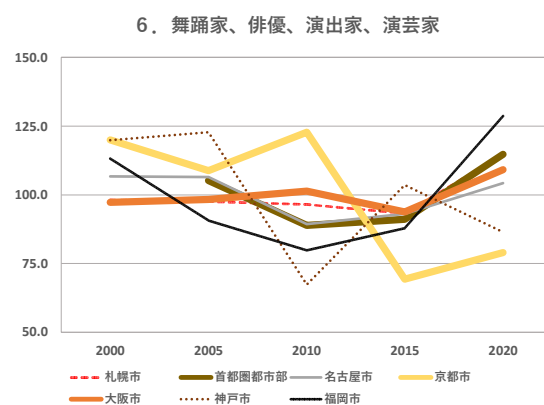
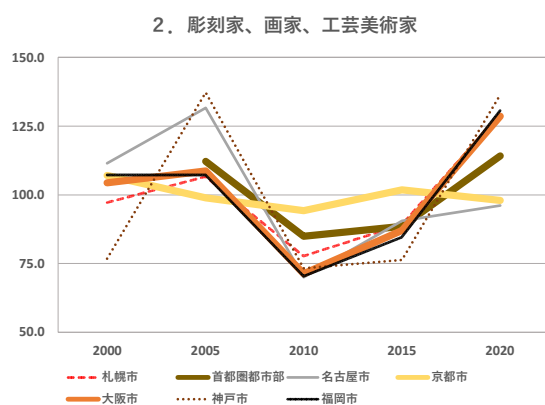
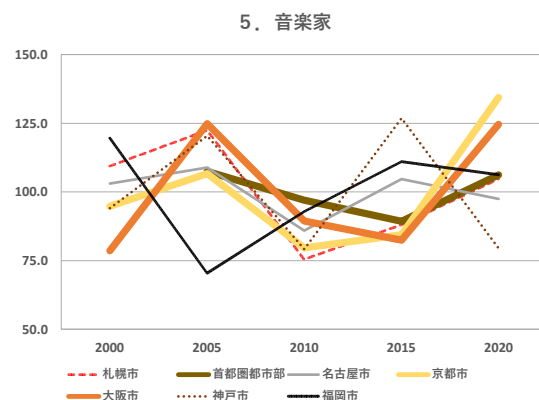
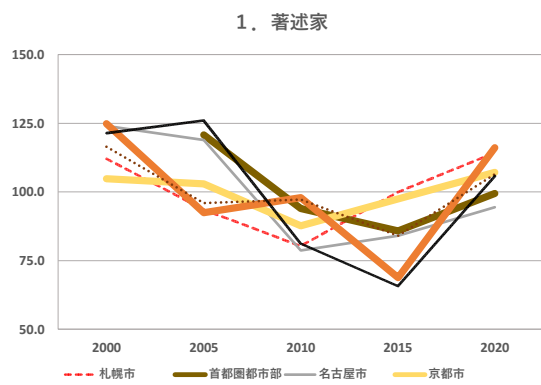
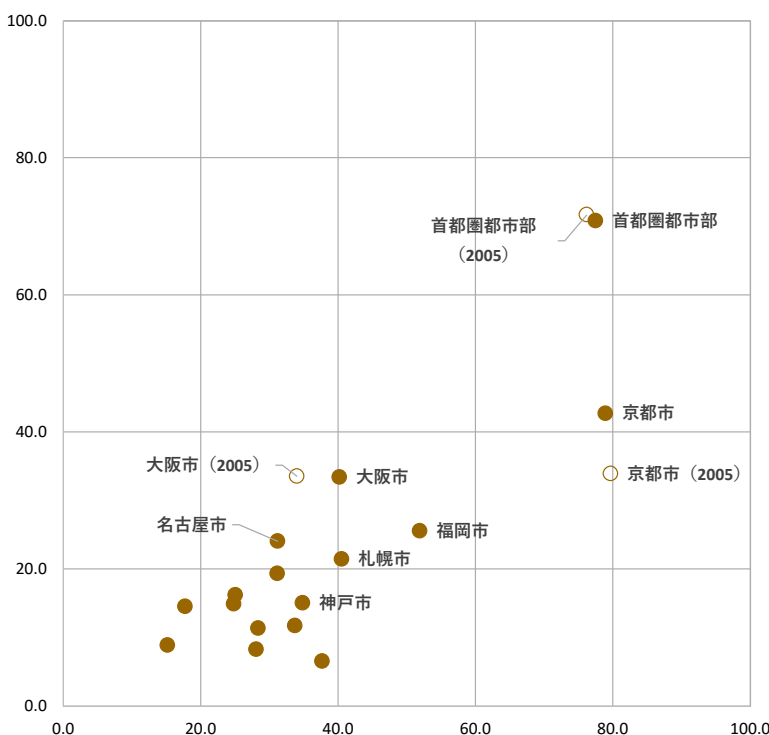


図 5. 10万人あたり美術家、音楽家人口の散布図（2020年）

都市	2. 美術家 (彫刻家、 画家、工 芸美術 家)	5. 音楽家
札幌市	40.5 ④	21.4
仙台市	31.2	19.3
首都圏都市部	77.5 ②	70.8 ①
新潟市	33.7	11.7
静岡市	28.1	8.3
浜松市	25.1	16.2
名古屋市	31.2	24.0 ⑤
京都市	78.9 ①	42.7 ②
大阪市	40.2 ⑤	33.4 ③
堺市	28.4	11.4
神戸市	34.8	15.0
岡山市	37.7	6.6
広島市	24.8	14.9
北九州市	15.2	8.9
福岡市	51.9 ③	25.6 ④
熊本市	17.7	14.5
首都圏都市部（2005）	76.2	71.7
京都市（2005）	79.7	33.9
大阪市（2005）	34.0	33.5

※首都圏都市部=さいたま市・千葉市・特別区部（東京23区）・横浜市・川崎市・相模原市

5. 音楽家



2. 美術家 (彫刻家、画家、工芸美術家)

図 5 では首都圏都市部、京都市、大阪市に関して2005年についても追記したが、京都市の10万人あたり美術家人口は当時も1位で、むしろ2005年以来、2位を維持している音楽家のさらなる増加が目立つ。なお、首都圏都市部の定義次第で順位は変動する。

永山・勝浦（2020）は都道府県単位の（デザイナーを除く）種類別の芸術家人口を用い、分布状態を集約する変動係数として、就業者1万人当たりの各芸術家人口に関し、「標準偏差／平均×100」を算出している。2000年以降、係数はおおむね減少傾向にあり、著者らは芸術家の大都市への集中、特に東京圏への一極集中が進行しているとする。

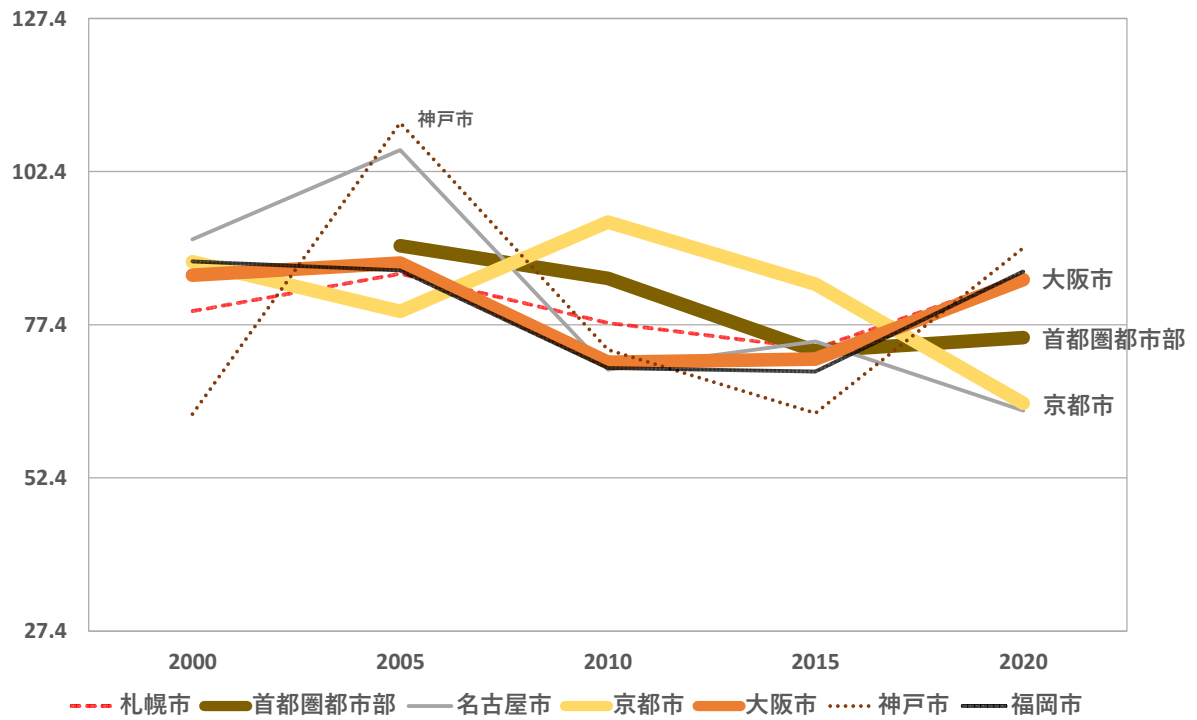
（2）全国集計の推移による調整～美術家、音楽家について～

15歳以上人口10万人あたりの芸術家数について、調査5回の平均値に照らした指数をさらに2010年（対象期間の中央）の種類別芸術家人口を基準に調整した結果が付表2である。うち、「2. 美術家」「5. 音楽家」について図6でグラフ化した（2010年の指数の平均値がグラフ中央に来よう平行移動した）。全体傾向をキャンセルしたことで平坦化するが、そのことで都市別の推移の特徴を抽出できる。読み取れることは次のとおりである。

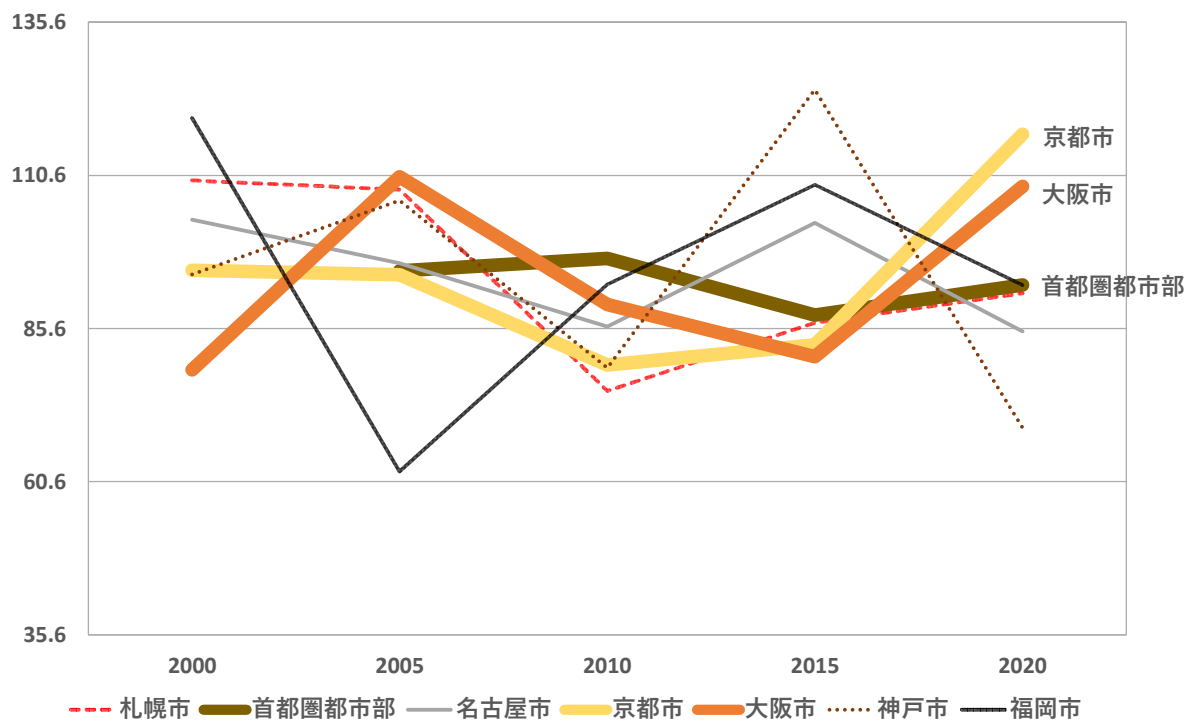
- ① 2010年から2020年にかけての大阪市の10万人あたり美術家人口が多少伸びているが（付表2「2.」の調整済指数で71.3→84.4）、過去にはさらに高かった時期もあり、長期的には横ばいである。2000年代後半の同市の財政縮小を反映している可能性もあるが、より詳細な分析が必要であろう。京都市は2010年～2020年に減少しているが（94.2→64.6）、全国的な美術家人口の増加の中での天井効果の可能性はある。

図6. 10万人あたり美術家、音楽家人口の推移（2010年全国集計を基準にした調整済指数）

2. 美術家（彫刻家、画家、工芸美術家）



5. 音楽家



- ② 一方、2010年代の京都市の音楽家の増加は著しく（調整済指数で79.6→117.3）、何らかの政策効果とも考えうる。音楽家にもクラシック、ポピュラー、古典芸能などさまざまな専門性があり、うちどの部分やその年齢層が伸びているかをあらためて調べる余地がある。必要に応じて専門家の見解も聴取したい。
- ③ 神戸市に関しては2000年から2005年にかけて美術家人口が増加し、その後下降する。阪神・淡路大震災後の復興が一段落した結果とも解釈されるが、確認にはさらに過去の国勢調査を含む他の情報との突き合わせを要する。

（３）データの限界

冒頭で述べたように、国勢調査における職業小分類別集計は「抽出詳細集計」で行なわれている。総務省統計局がその精度に関してWEB公表している「抽出詳細集計の抽出方法および推定値の精度」

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/pdf/method_estimate.pdf

によれば、2020年国勢調査の京都府の場合、1,000人に対する標準誤差率は「0.10100」である。文書のインストラクションに従って、表4に見る京都市の美術家人口推定値980人にこの率を適用すると、約68%の確率で881～1,079人（±1シグマ）、約95%の確率で782～1,178人（±2シグマ）の範囲内にあることがわかる。音楽家の推定値530人に（2010年の320人に近い）300人の場合の標準誤差率「0.18443」を適用すると、それぞれ432～628人、335～726人で範囲はかなり広い。

このように都市間、時点間の芸術家人口の相違を国勢調査で把握できるかは微妙であるが、図4で見たように変化の意味性が読み取れることもある。「3. デザイナー」は安定した動きを示しているが、日本全体で約20万人の業界である。これに準ずるのが「7. 個人教師（音楽）」「4. 写真家、映像撮影者」で、従事者はそれぞれ7万人前後に達する。この程度の人数になるよう芸術家の種類を統合することも考えられるが、それは芸術家の活動内容面で無理がある。かろうじて音楽家とその個人教師（「5.」「7.」）、舞踊家・俳優・演出家・演芸家とその個人教師（「6.」「8.」）は統合可能かもしれないが、個人教師（音楽）に見いだされた減少傾向を無視することになるだろう。

なお、2010年国勢調査における京都市の音楽家320人に2020年の標準誤差率「0.18443」を適用すると±1シグマで261～379人、±2シグマで202～438人となった。後者では2020年の335～726人とかなりの重なりが生じる（重なりが生じない±1シグマは普通は

表4. 京都市の美術家、音楽家人口と信頼区間

芸術家の種類	調査年	人口 (人)	適用した 標準誤差 率	信頼区間（四捨五入）			
				- 2 σ	- 1 σ	+ 1 σ	+ 2 σ
美術家	2010年	960	0.10100	766	863	1,057	1,154
	2020年	980	0.10100	782	881	1,079	1,178
音楽家	2010年	320	0.18443	202	261	379	438
	2020年	530	0.18443	335	432	628	726

用いられない)。信頼区間の重なりは差の有無に関する重要な指標であり、国勢調査に詳しい統計学の専門家に意見を求めたところ、やはりこの程度では必ずしも増加したと断定することはできないとのことであった。

4. 所得分布の都市間・時点間比較

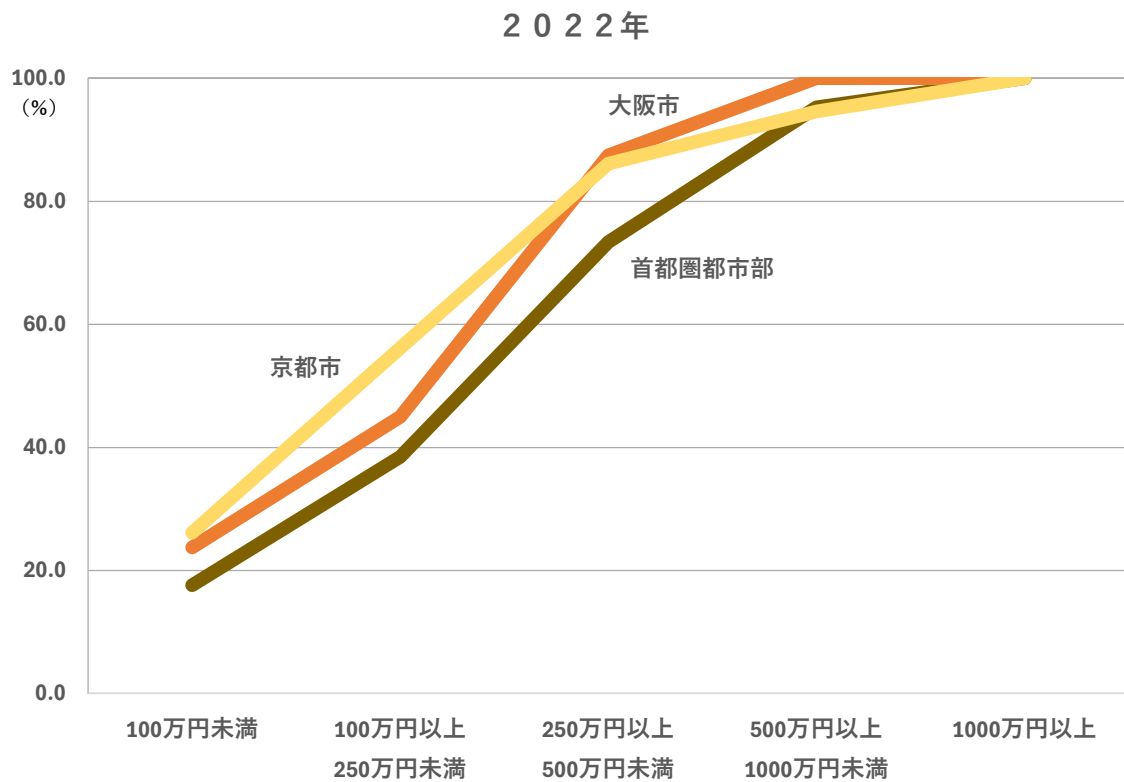
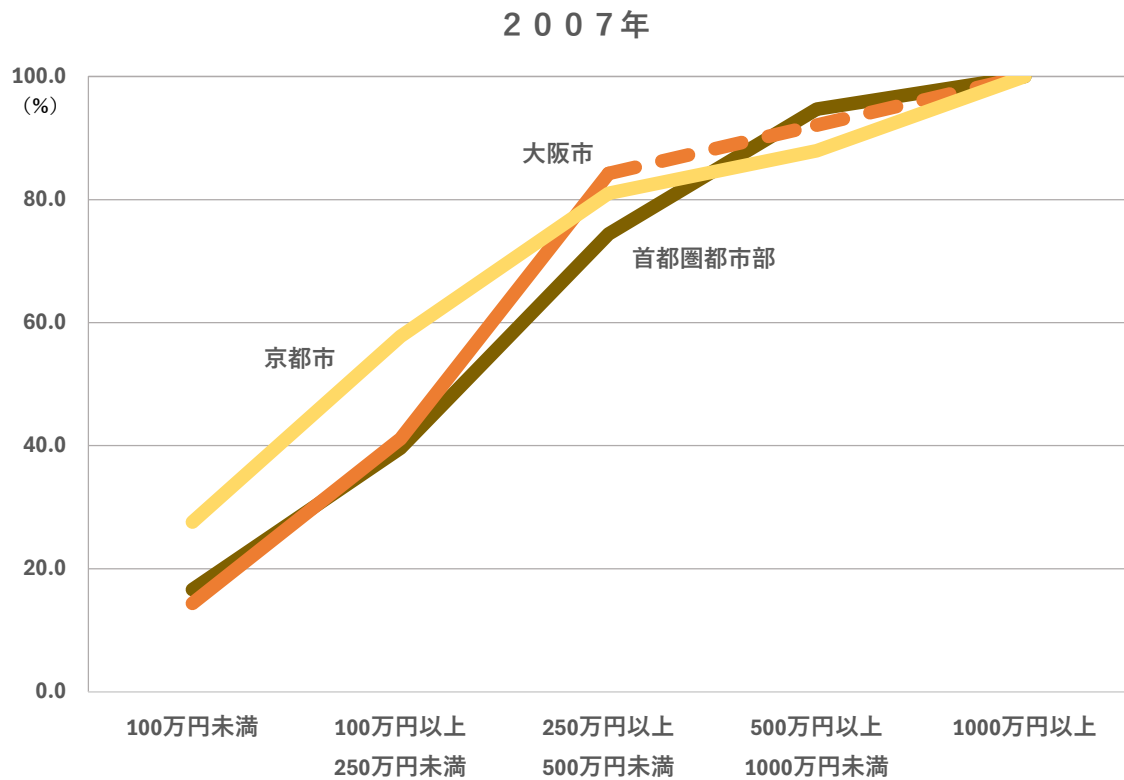
以上では2000～2020年の5回の国勢調査から芸術家人口の都市別推移を追跡した。京都市に関しては、特に15歳以上人口10万人あたりの「2. 美術家」数は2020年が78.9人で、主要都市では首都圏都市部を抜いて1位であることが特筆される(付表1、図3)。近年は首都圏都市部の猛追を受けているが、2000年以降一貫して1位である。「5. 音楽家」に関しては2020年は42.7人で、2005年以来の2位を維持している。これらは京都市が「芸術都市」であることの証左である。

次の課題は芸術家の所得である。統計としては政府が5年おきに実施する基幹統計「就業構造基本調査」が存在するが、職業小分類ベースの都市別集計結果が公表されていないため、独立行政法人統計センターに2007年調査と2022年調査のオーダーメイド集計を発注した(比較対象を2007年にしたのは、さいたま市が発足して「首都圏都市部」の数値が得られるため)。

就業構造基本調査は層化二段抽出により15歳以上の約108万人を対象としており(2022年調査の場合)、調査項目の一つが所得である。所得区分ごとの人数を集計しているが、回答者のプライバシー保護のため、標本数が5人未満の場合は結果が表示されない。このため本分析では所得16区分を5区分に集約した結果を発注したが(あらかじめ統合しておくことによって非表示を避ける)、さらに8種類の芸術家を統合した「芸術家」を用いるとともに、対象を首都圏都市部、大阪市、京都市の3都市に限定し、都市間・時点間比較を試みた。対象は2007年と2022年で、結果を付表3および図7に示す。後者の横軸は所得区分であるが、都市間の規模の差により実際の人数を比較することは現実的でないため縦軸を累積%とした。よって右端は3都市とも100%で、どの所得区分までの累積が上方に膨れているかが問題になる。2007年の大阪市については、「500万円以上1000万円未満」「1000万円以上」の層が判明しないため、該当部分を点線とした。付表3に示すように、2007年と2022年の京都市の「1000万円以上」層、2022年の大阪市の「1000万円以上」層が不明であるが、他の所得区分がわかっているため当該都市の芸術家の総数から推定した。総数には所得区分の「不明」ケースが含まれ、四捨五入の関係で区分の合計が総数と一致しないこともあるが、首都圏都市部におけるずれは1%程度であることがわかっており、推定に用いて差し支えないと判断した。以上から観測されるのは次の事項である。

- ① 2007年調査における京都市の芸術家所得は100万円未満が27.6%、250万円未満が57.8%で(100万円未満を含む)、首都圏都市部や大阪市に比べて低所得者の比率が高い。250万円未満は首都圏都市部で39.6%、大阪市で41.1%である。
- ② 2022年調査の250万円未満は首都圏都市部38.5%、大阪市45.0%で、後者の増加に対して京都市は56.2%と微減しており、大阪市との差が若干縮小した。首都圏都市部との差はほとんど縮小していない。

図 7. 主要 3 都市の芸術家所得の累計（就業構造基本調査）



ここで2007年就業構造基本調査の「標本設計及び結果の推定方法」

<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2007/5.html>

の付表4を用いてデータの限界を検討する。「表4 推定値の大きさ別標準誤差率（都道府県及び政令指定都市）」によれば、2007年調査において東京都区部の年収250万円未満の芸術家人口76,500人に近い70,000人に対する標準誤差率は「0.0626」で、大阪市と京都市の場合に、7,000人に対応するのがそれぞれ「0.2119」「0.1302」である。これらを用いて信頼区間を求め、さらに調査で得られた芸術家人口に対する比率を表5で算出した。

表5. 首都圏都市部、大阪市、京都市の250万円未満芸術家人口と信頼区間（2007年）

都市	250万円未満芸術家人口(人)	適用した標準誤差率	信頼区間（四捨五入）				芸術家人口（人）	250万円未満芸術家人口の比率	
			-2 σ	-1 σ	+1 σ	+2 σ		2007年	2022年
首都圏都市部	76,500	0.0778	66,922 (34.7%)	71,711 (37.1%)	81,289 (42.1%)	86,078 (44.6%)	193,100	39.6%	38.5%
大阪市	6,000	0.2320	3,457 (23.7%)	4,729 (32.4%)	7,271 (49.8%)	8,543 (58.5%)	14,600	41.1%	45.0%
京都市	6,700	0.1533	4,955 (42.7%)	5,828 (50.2%)	7,572 (65.3%)	8,445 (72.8%)	11,600	57.8%	56.2%

表5からわかるのは、首都圏都市部と京都市の ± 2 シグマ（約95%）の信頼区間がわずかに重なっていることである（首都圏都市部：34.7～44.6%、京都市：42.7～72.8%）。よって、上記①に見た首都圏都市部と京都市の250万円未満層の比率である「39.6%」と「57.8%」の間には必ずしも差があるとは言えない。ただし信頼区間の重なりは小さく、 ± 1 シグマ（約68%）では重ならない。2022年調査でも同様の傾向が出ており、首都圏都市部と京都市の低所得者率の差は微妙ながらも、存在が十分疑われると言えそうである。大阪市の低所得者率の京都市との差も同様で、②で述べたその後の接近は有意差を打ち消す方向であり、やはり変化が生じていることを示唆する。なお、比率の計算において分母の「芸術家人口」も標本誤差を含むが、「250万円未満芸術家人口」と比較して人数が多く、標本誤差が相対的に小さくなることから、分母についてはこれを無視している。より正確な計算には比率の数値自体の信頼区間を推定する方法をとるが、その場合は標本数の情報が必要になる。

表6は京都市在住の芸術家について、就業構造基本調査における所得区分別芸術家人口に基づき、区分の代表値を仮定して所得総額を算出したもので、額は年間400億円程度となっている（芸術家人口は国勢調査のそれとかなり異なるが、就業構造基本調査の芸術家人口とは常に20%程度異なっており、調査方式の相違を反映するものと思われる）。

新型コロナ蔓延の芸術家への影響については、京都市・京都芸術センター（2020）が2020年5月時点で京都府を居住地や制作、活動・発表の場所とする音楽、美術、演劇・舞踊などの芸術家個人および団体・事業所を対象に緊急調査を行っている。有効回答した個人1,012人の調査時点までの所得損失額の平均は約88万2千円と推計されているが、これに国勢調査から得られた京都市在住の芸術家人口8,140人（付表1から算出）をかけ、同じ被害が同年さらに1回あったとして、年間損失額は約143億6千万円だったことになる。

2021年1月調査の結果をまとめた京都市・京都芸術センター（2021）は損失額の推定を行っていないが、その拡大傾向を指摘する。

表 6 . 京都市在住の芸術家の年間所得（就業構造基本調査）

所得区分	代表値 (仮定)	2007年		2022年	
		芸術家人口(人)	小計	芸術家人口(人)	小計
100万円未満	50万円	3,200	16.00億円	3,400	17.00億円
100万円以上250万円未満	175万円	3,500	61.25億円	3,900	68.25億円
250万円以上500万円未満	375万円	2,700	101.25億円	3,900	146.25億円
500万円以上1000万円未満	750万円	800	60.00億円	1,100	82.50億円
1000万円以上	1250万円	1,400	175.00億円	700	87.50億円
合 計		11,600	413.50億円	13,000	401.50億円
平 均			356.47万円		308.85万円
国勢調査（参考値）		8,822 (2005年)		8,140 (2020年)	

これに対して2020年度の京都市の文化芸術支援事業を報告する京都市（2021）によれば、地方創生臨時交付金などを原資とする「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う京都市文化芸術活動緊急奨励金」は3億円、「感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金」は1億円であった。その一部は芸術家の所得になったと思われるが、世帯主に1人10万円を給付した特別定額給付金による10億円程度と合わせて、補填されたのは損失額のごく一部である。損失は芸術家人口の減少や所得の減少で吸収されたと思われるが、内訳を推測できる情報は存在しない。

2022年の就業構造基本調査（2021年10月～2022年9月の所得を問うている）はコロナ禍の中で実施され、また世界的なインフレが本格化する以前であるにも関わらず、あまり大きな減少を示していないことは注目に値する。2012年、2017年調査と比較したり、「芸術家」の定義に注意する必要があるが、コロナ禍の初年度を乗り切ったあとの調査であり、それまでの行政による損失額の補填が適切であったと考えるのが順当であろう。

なお、代表値の仮定にもとづく2022年の京都市在住芸術家の平均所得は308.85万円であるが、同じ方法で計算すると首都圏都市部399.34万円、大阪市302.19万円となった。表7によれば首都圏都市部が2007年から変化していないのに対し、京都市は大きな低下を示す。表6では「1000万円以上」層が「500万円以上1000万円未満」層にシフトしたようにも見えるが、抽出率1％程度の標本調査であり、明確なことは言えない。2020年の国勢調査における東京都特別区部と京都市の芸術家の種類別平均年齢（抽出詳細集計）は8種類中6種類で京都市の方が高く、年齢層が低いゆえの低所得とは言えないようである。正確には年齢分布をチェックする必要があるが、公表されている範囲では不可能となっている。

表 7. 主要 3 都市在住芸術家の年間所得（仮定にもとづく算出）

都市	2007年	2022年
首都圏都市部	397.33万円	399.34万円
大阪市	—	302.19万円
京都市	356.47万円	308.85万円

5. 「調査票情報」の利用に向けて

本レポートにおける都市間比較、時点間比較は国勢調査や就業構造基本調査が想定する利用の前提を逸脱しているおそれがあり、断定的な判断は避けなければならない。ただし、政府は近年、統計調査で収集された個票データを「調査票情報」として学術研究などの二次利用に供しており、今後はこれを利用していくことも考えられる。

謝辞

本レポートの作成に際し、文中言及した「国勢調査に詳しい統計学の専門家」として多々ご教示くださったのは公立大学法人長野大学企業情報学部の高橋雅夫教授（元総務省統計局企画官、元独立行政法人統計センター情報技術センター長）である。文献データベースで松岡・高橋（2012）を発見して連絡を取り、就業構造基本調査についてご指導いただいた。記してお礼申し上げる。本レポートで分析した「就業構造基本調査」（総務省）のデータは、統計法に基づいて独立行政法人統計センターに依頼したオーダーメイド集計で得た統計成果物を基にしている。

引用文献

- 勝浦正樹（2023）「国勢調査からみる芸術家」『統計』74（10）
- 永山貞則・勝浦正樹（2020）「国勢調査にみる芸術家の動向」文化統計研究会『文化統計研究会最終報告書 第1分冊』
- 京都市・京都芸術センター（2020）『京都市の芸術家等の活動状況に関するアンケート調査について 報告書〔個人〕』
- 京都市・京都芸術センター（2021）『第2回 京都市の芸術家等の活動状況に関するアンケート調査について』
- 京都市（2021）『2020年度 コロナ禍における京都市の文化芸術支援 事業報告書』
- 松岡良彰・高橋雅夫（2012）「平成22年国勢調査抽出詳細集計の標本設計について」『統計研究彙報』69

統括：疋田正博（代表取締役）
担当：澤田芳郎（取締役主任研究員）

付表 1. 主要 7 都市の芸術家人口推移（実数、指数）

芸術家の種類	都市	芸術家人口 (A)					15歳以上人口 (B)					10万人あたり芸術家人口 (A/B*100000)					10万人あたり芸術家人口指数 (A/B*100000/C*100)				
		2000	2005	2010	2,015	2020	2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020
1. 文芸家、著述家 1. 著述家	札幌市	475	421	370	470	540	1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	30.7	25.6	22.0	27.3	31.3	112.0	93.6	80.3	99.9	114.2
	首都圏都市部	—	12,829	10,500	9,850	11,680	—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	—	91.6	71.4	65.2	75.5	—	120.7	94.0	85.8	99.5
	名古屋	486	480	330	360	400	1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	26.9	25.8	17.0	18.2	20.5	124.0	118.9	78.6	84.1	94.4
	京都市	420	417	350	390	420	1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	33.1	32.5	27.7	30.8	33.8	104.9	102.9	87.6	97.5	107.2
	大阪市	928	691	750	530	900	2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	40.9	30.3	32.1	22.5	38.1	124.8	92.4	98.0	68.7	116.1
	神戸市	334	283	290	250	300	1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	26.0	21.4	21.7	18.7	23.8	116.4	96.0	97.3	84.0	106.4
	福岡市	356	386	260	220	360	1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	31.1	32.2	20.8	16.8	27.1	121.4	126.0	81.1	65.7	105.8
2. 彫刻家、画家、工芸 美術家 2. 彫刻家、画家、工芸 美術家	札幌市	472	549	410	480	700	1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	30.5	33.4	24.3	27.9	40.5	97.2	106.6	77.7	89.1	129.4
	首都圏都市部	—	10,666	8,480	9,090	11,980	—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	—	76.2	57.7	60.1	77.5	—	112.3	85.0	88.6	114.2
	名古屋	668	812	440	580	610	1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	36.2	42.7	22.7	29.4	31.2	111.6	131.7	70.1	90.5	96.2
	京都市	1,094	1,023	960	1,040	980	1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	86.2	79.7	75.9	82.0	78.9	107.1	98.9	94.2	101.8	98.0
	大阪市	740	775	520	640	950	2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	32.6	34.0	22.3	27.2	40.2	104.4	108.7	71.3	87.0	128.6
	神戸市	252	463	250	260	440	1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	19.6	35.1	18.7	19.5	34.8	76.7	137.2	73.3	76.3	136.4
	福岡市	488	510	350	440	690	1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	42.6	42.6	28.0	33.6	51.9	107.2	107.2	70.3	84.6	130.6
3. デザイナー 3. デザイナー	札幌市	2,275	2,709	2,650	3,150	3,650	1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	146.9	164.8	157.4	183.2	211.4	85.0	95.4	91.1	106.1	122.4
	首都圏都市部	—	55,451	58,640	60,850	67,200	—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	—	396.1	398.7	402.5	434.6	—	97.1	97.7	98.7	106.5
	名古屋	3,998	4,460	4,300	4,670	4,730	1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	216.6	234.7	222.1	236.5	242.0	94.0	101.9	96.4	102.6	105.0
	京都市	3,978	3,818	3,990	3,800	3,820	1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	313.6	297.5	315.4	299.8	307.7	102.2	97.0	102.8	97.7	100.3
	大阪市	6,682	6,537	7,440	7,370	8,160	2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	294.7	286.8	318.9	313.4	345.2	94.5	92.0	102.3	100.5	110.7
	神戸市	1,941	2,664	2,260	2,920	2,360	1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	151.0	201.7	169.3	219.0	186.9	81.4	108.7	91.2	118.0	100.7
	福岡市	3,074	2,844	3,020	3,590	4,180	1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	268.3	237.6	241.2	274.3	314.5	100.4	88.9	90.3	102.7	117.7
4. 写真家 4. 写真家、映像撮影者	札幌市	1,085	958	1,340	950	1,310	1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	70.0	58.3	79.6	55.3	75.9	67.8	86.0	117.4	81.5	111.9
	首都圏都市部	—	15,189	14,710	14,270	17,420	—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	—	108.5	100.0	94.4	112.7	—	104.4	96.3	90.9	108.4
	名古屋	1,294	1,308	1,600	1,300	1,480	1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	70.1	68.8	82.7	65.8	75.7	96.5	94.8	113.8	90.6	104.3
	京都市	987	920	880	1,060	770	1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	77.8	71.7	69.6	83.6	62.0	106.7	98.3	95.4	114.7	85.0
	大阪市	1,818	1,645	1,510	1,590	1,640	2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	80.2	72.2	64.7	67.6	69.4	113.2	101.9	91.4	95.5	98.0
	神戸市	609	551	810	690	570	1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	47.4	41.7	60.7	51.7	45.1	96.0	84.6	123.0	104.9	91.5
	福岡市	893	887	1,050	1,140	1,490	1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	78.0	74.1	83.9	87.1	112.1	89.6	85.2	96.4	100.1	126.8

芸術家の種類	都市	芸術家人口 (A)				
		2000	2005	2010	2,015	2020
5. 音楽家（個人に教授するものを除く）	札幌市	347	412	260	310	370
	首都圏都市部	—	10,032	9,520	9,010	10,950
	名古屋	469	510	410	510	470
	京都市	382	435	320	340	530
	大阪市	478	763	560	520	790
5. 音楽家	神戸市	229	301	200	320	190
	福岡市	330	203	280	350	340

6. 俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	札幌市	683	720	730	720	890
	首都圏都市部	—	25,654	22,770	23,980	30,900
	名古屋	1,081	1,112	950	1,010	1,120
	京都市	745	683	760	430	480
	大阪市	1,531	1,555	1,640	1,530	1,790
6. 舞踊家、俳優、演出家、演芸家	神戸市	480	505	280	430	340
	福岡市	947	793	730	840	1,250

7. 音楽家（個人に教授するもの）	札幌市	1,429	1,465	1,310	1,000	1,040
	首都圏都市部	—	11,698	10,720	9,950	11,550
	名古屋	1,740	1,560	1,580	1,450	1,650
	京都市	1,120	1,154	980	930	840
	大阪市	1,058	1,200	990	1,090	950
7. 個人教師（音楽）	神戸市	1,364	1,335	900	1,030	720
	福岡市	1,140	1,227	1,030	830	1,020

8. 俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するもの）	札幌市	517	505	470	320	240
	首都圏都市部	—	5,309	4,620	4,760	4,850
	名古屋	404	400	490	680	500
	京都市	340	372	390	330	300
	大阪市	419	512	570	670	630
8. 個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）	神戸市	163	314	310	260	310
	福岡市	275	320	300	320	510

15歳以上人口 (B)					
2000	2005	2010	2015	2020	
1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	
—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	
1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	
1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	
2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	
1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	
1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	

1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	
—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	
1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	
1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	
2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	
1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	
1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	

1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	
—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	
1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	
1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	
2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	
1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	
1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	

1,549,074	1,643,879	1,684,109	1,719,050	1,726,966	
—	14,000,076	14,707,567	15,117,589	15,461,051	
1,845,677	1,900,568	1,935,856	1,975,005	1,954,502	
1,268,472	1,283,373	1,265,247	1,267,554	1,241,452	
2,267,543	2,279,543	2,333,267	2,351,496	2,363,578	
1,285,440	1,320,943	1,335,177	1,333,394	1,262,806	
1,145,570	1,196,965	1,251,969	1,308,732	1,329,228	

10万人あたり芸術家人口 (A/B*100000)					
2000	2005	2010	2015	2020	
22.4	25.1	15.4	18.0	21.4	
—	71.7	64.7	59.6	70.8	
25.4	26.8	21.2	25.8	24.0	
30.1	33.9	25.3	26.8	42.7	
21.1	33.5	24.0	22.1	33.4	
17.8	22.8	15.0	24.0	15.0	
28.8	17.0	22.4	26.7	25.6	

44.1	43.8	43.3	41.9	51.5	
—	183.2	154.8	158.6	199.9	
58.6	58.5	49.1	51.1	57.3	
58.7	53.2	60.1	33.9	38.7	
67.5	68.2	70.3	65.1	75.7	
37.3	38.2	21.0	32.2	26.9	
82.7	66.3	58.3	64.2	94.0	

92.2	89.1	77.8	58.2	60.2	
—	83.6	72.9	65.8	74.7	
94.3	82.1	81.6	73.4	84.4	
88.3	89.9	77.5	73.4	67.7	
46.7	52.6	42.4	46.4	40.2	
106.1	101.1	67.4	77.2	57.0	
99.5	102.5	82.3	63.4	76.7	

33.4	30.7	27.9	18.6	13.9	
—	37.9	31.4	31.5	31.4	
21.9	21.0	25.3	34.4	25.6	
26.8	29.0	30.8	26.0	24.2	
18.5	22.5	24.4	28.5	26.7	
12.7	23.8	23.2	19.5	24.5	
24.0	26.7	24.0	24.5	38.4	

10万人あたり芸術家人口指数 (A/B*100000/C*100)					
2000	2005	2010	2015	2020	
109.4	122.4	75.4	88.1	104.7	
—	107.4	97.0	89.4	106.2	
103.0	108.8	85.9	104.7	97.5	
94.8	106.7	79.6	84.4	134.4	
78.6	124.8	89.5	82.5	124.6	
94.1	120.4	79.2	126.8	79.5	
119.6	70.4	92.8	111.0	106.2	

98.1	97.5	96.5	93.2	114.7	
—	105.2	88.9	91.1	114.8	
106.6	106.5	89.4	93.1	104.3	
120.1	108.8	122.8	69.3	79.0	
97.3	98.3	101.3	93.8	109.2	
119.9	122.8	67.3	103.5	86.5	
113.1	90.6	79.8	87.8	128.7	

122.2	118.0	103.0	77.0	79.8	
—	112.5	98.2	88.7	100.6	
113.4	98.7	98.1	88.3	101.5	
111.3	113.3	97.6	92.5	85.3	
102.2	115.3	92.9	101.5	88.0	
129.8	123.6	82.4	94.5	69.7	
117.2	120.8	96.9	74.7	90.4	

134.0	123.4	112.1	74.7	55.8	
—	114.7	95.1	95.3	94.9	
85.3	82.0	96.7	134.2	96.7	
98.0	105.9	112.6	95.1	88.3	
76.7	93.2	101.4	118.2	110.6	
61.1	114.6	111.9	94.0	118.3	
87.3	97.2	87.1	88.9	139.5	

※首都圏都市部-さいたま市・千葉市・特別区部（東京23区）・横浜市・川崎市・相模原市

付表 2. 主要 7 都市の芸術家人口推移（2010年全国集計を基準にした調整済指数）

芸術家の種類	都市	10万人あたり芸術家人口指数 (A / B * 100000 / C * 100)					芸術家人口 (全国)					2010年基準で調整した 10万人あたり芸術家人口指数				
		2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020
1. 文芸家、著述家	札幌市	112.0	93.6	80.3	99.9	114.2	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	83.1	79.8	80.3	98.5	94.5
	首都圏都市部	—	120.7	94.0	85.8	99.5	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	—	103.0	94.0	84.6	82.3
	名古屋	124.0	118.9	78.6	84.1	94.4	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	92.0	101.5	78.6	82.9	78.1
	京都市	104.9	102.9	87.6	97.5	107.2	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	77.8	87.8	87.6	96.1	88.7
	大阪市	124.8	92.4	98.0	68.7	116.1	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	92.6	78.9	98.0	67.7	96.1
1. 著述家	神戸市	116.4	96.0	97.3	84.0	106.4	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	86.3	81.9	97.3	82.8	88.0
	福岡市	121.4	126.0	81.1	65.7	105.8	33,600	29,215	24,930	25,290	30,130	90.1	107.5	81.1	64.7	87.5
2. 彫刻家、画家、工芸 美術家	札幌市	97.2	106.6	77.7	89.1	129.4	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	79.6	85.7	77.7	73.5	85.3
	首都圏都市部	—	112.3	85.0	88.6	114.2	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	—	90.3	85.0	73.1	75.3
	名古屋	111.6	131.7	70.1	90.5	96.2	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	91.3	105.9	70.1	74.7	63.4
	京都市	107.1	98.9	94.2	101.8	98.0	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	87.7	79.6	94.2	84.0	64.6
	大阪市	104.4	108.7	71.3	87.0	128.6	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	85.5	87.5	71.3	71.8	84.8
2. 彫刻家、画家、工芸 美術家	神戸市	76.7	137.2	73.3	76.3	136.4	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	62.8	110.4	73.3	63.0	89.9
	福岡市	107.2	107.2	70.3	84.6	130.6	38,103	38,781	31,200	37,820	47,320	87.8	86.3	70.3	69.8	86.1
3. デザイナー	札幌市	85.0	95.4	91.1	106.1	122.4	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	94.6	104.0	91.1	98.3	109.3
	首都圏都市部	—	97.1	97.7	98.7	106.5	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	—	105.8	97.7	91.4	95.1
	名古屋	94.0	101.9	96.4	102.6	105.0	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	104.6	111.0	96.4	95.1	93.8
	京都市	102.2	97.0	102.8	97.7	100.3	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	113.7	105.7	102.8	90.5	88.6
	大阪市	94.5	92.0	102.3	100.5	110.7	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	105.2	100.3	102.3	93.1	98.9
3. デザイナー	神戸市	81.4	108.7	91.2	118.0	100.7	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	90.5	118.5	91.2	109.3	89.9
	福岡市	100.4	88.9	90.3	102.7	117.7	161,393	164,741	179,570	193,830	201,100	111.7	96.9	90.3	95.1	105.1
4. 写真家	札幌市	103.3	86.0	117.4	81.5	111.9	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	101.9	87.4	117.4	83.5	106.0
	首都圏都市部	—	104.4	96.3	90.9	108.4	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	—	106.2	96.3	93.1	102.8
	名古屋	96.5	94.8	113.8	90.6	104.3	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	95.3	96.4	113.8	92.9	98.8
	京都市	106.7	98.3	95.4	114.7	85.0	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	105.3	99.9	95.4	117.5	80.6
	大阪市	113.2	101.9	91.4	95.5	98.0	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	111.7	103.6	91.4	97.8	92.8
4. 写真家、映像撮影者	神戸市	96.0	84.6	123.0	104.9	91.5	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	94.8	86.0	123.0	107.5	86.7
	福岡市	89.6	85.2	96.4	100.1	128.8	66,412	64,446	65,540	63,970	69,170	88.4	86.6	96.4	102.6	122.0

芸術家の種類	都市	10万人あたり芸術家人口指数 (A / B * 100000 / C * 100)					芸術家人口 (全国)					2010年基準で調整した 10万人あたり芸術家人口指数				
		2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020	2000	2005	2010	2015	2020
5. 音楽家 (個人に教授するものを除く)	札幌市	109.4	122.4	75.4	88.1	104.7	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	109.8	108.3	75.4	86.5	91.4
	首都圏都市部	—	107.4	97.0	89.4	106.2	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	—	95.0	97.0	87.8	92.7
	名古屋	103.0	108.8	85.9	104.7	97.5	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	103.4	96.2	85.9	102.9	85.1
	京都市	94.8	106.7	79.6	84.4	134.4	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	95.1	94.4	79.6	83.0	117.3
	大阪市	78.6	124.8	89.5	82.5	124.6	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	78.9	110.4	89.5	81.0	108.8
5. 音楽家	神戸市	94.1	120.4	79.2	126.8	79.5	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	94.4	106.5	79.2	124.6	69.4
	福岡市	119.6	70.4	92.8	111.0	106.2	22,696	25,747	22,770	23,180	26,080	120.0	62.3	92.8	109.0	92.7
6. 俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)	札幌市	98.1	97.5	96.5	93.2	114.7	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	86.3	85.4	96.5	88.2	94.2
	首都圏都市部	—	105.2	88.9	91.1	114.8	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	—	92.2	88.9	86.1	94.2
	名古屋	106.6	106.5	89.4	93.1	104.3	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	93.8	93.3	89.4	88.1	85.7
	京都市	120.1	108.8	122.8	69.3	79.0	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	105.5	95.3	122.8	65.6	64.9
	大阪市	97.3	98.3	101.3	93.8	109.2	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	85.6	86.1	101.3	88.7	89.6
6. 舞踊家、俳優、演芸家、演芸家	神戸市	119.9	122.8	67.3	103.5	86.5	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	105.4	107.5	67.3	97.9	71.0
	福岡市	113.1	90.6	79.8	87.8	128.7	58,044	58,273	51,030	53,960	62,160	99.4	79.4	79.8	83.0	105.6
7. 音楽家 (個人に教授するもの)	札幌市	122.2	118.0	103.0	77.0	79.8	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	95.6	102.5	103.0	84.9	88.2
	首都圏都市部	—	112.5	98.2	88.7	100.6	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	—	97.7	98.2	97.7	111.2
	名古屋	113.4	98.7	98.1	88.3	101.5	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	88.7	85.7	98.1	97.3	112.2
	京都市	111.3	113.3	97.6	92.5	85.3	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	87.0	98.4	97.6	101.9	94.3
	大阪市	102.2	115.3	92.9	101.5	88.0	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	79.9	100.1	92.9	111.9	97.3
7. 個人教師 (音楽)	神戸市	129.8	123.6	82.4	94.5	69.7	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	101.5	107.3	82.4	104.1	77.1
	福岡市	117.2	120.8	96.9	74.7	90.4	99,090	89,273	77,500	70,330	70,110	91.7	104.8	96.9	82.3	99.9
8. 俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するもの)	札幌市	134.0	123.4	112.1	74.7	55.8	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	151.9	121.4	112.1	71.2	56.6
	首都圏都市部	—	114.7	95.1	95.3	94.9	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	—	112.9	95.1	90.8	96.3
	名古屋	85.3	82.0	98.7	134.2	99.7	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	96.7	80.7	98.7	127.9	101.2
	京都市	98.0	105.9	112.6	95.1	88.3	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	111.1	104.2	112.6	90.7	89.6
	大阪市	76.7	93.2	101.4	118.2	110.6	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	86.9	91.7	101.4	112.7	112.2
8. 個人教師 (舞踊、俳優、演出、演芸)	神戸市	61.1	114.6	111.9	94.0	118.3	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	69.3	112.8	111.9	89.6	120.1
	福岡市	87.3	97.2	87.1	88.9	139.5	17,729	20,425	20,100	21,090	19,810	99.0	95.7	87.1	84.7	141.5

※首都圏都市部＝さいたま市・千葉市・特別区部 (東京23区) ・横浜市・川崎市・相模原市

付表 3. 主要 3 都市の芸術家所得の推移（就業構造基本調査）

2007 年

単位：人

都市	所得区分	芸術家	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	芸術家 人口 (推定値)	芸術家 人口 (累計)	芸術家 人口 (累計%)
			文芸家、 著述家	彫刻家、 画家、工 芸美術家	デザイ ナー	写真家	音楽家 (個人に 教授する ものを除 く)	俳優、舞 踊家、演 芸家(個 人に教授 するもの を除く)	音楽家 (個人に 教授する もの)	俳優、舞 踊家、演 芸家(個 人に教授 するもの)			
首都圏都市部	総数	195,400	18,900	8,200	84,300	20,800	12,100	29,700	15,200	6,200	32,100	32,100	16.6
	100万円未満	32,100	3,200	4,100	4,800	3,600	3,600	2,400	7,600	2,800	44,400	76,500	39.6
	100万円以上250万円未満	44,400	5,400	3,100	16,500	7,300	—	4,100	4,600	2,100	67,200	143,700	74.4
	250万円以上500万円未満	67,200	5,500	—	37,400	6,800	3,000	11,500	1,800	—	39,200	182,900	94.7
	500万円以上1000万円未満	39,200	4,000	—	21,900	2,000	2,200	8,100	—	—	10,200	193,100	100.0
	1000万円以上	10,200	—	—	3,400	—	—	3,300	—	—	—	—	—
大阪市	総数	14,600	—	—	6,900	—	—	3,700	2,200	—	2,100	2,100	14.4
	100万円未満	2,100	—	—	—	—	—	—	—	—	3,900	6,000	41.1
	100万円以上250万円未満	3,900	—	—	1,700	—	—	—	—	—	6,300	12,300	84.2
	250万円以上500万円未満	6,300	—	—	3,900	—	—	—	—	—	—	—	—
	500万円以上1000万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14,600 代入	14,600 代入	100.0
京都市	総数	11,600	600	1,700	5,900	1,200	—	—	1,200	—	3,200	3,200	27.6
	100万円未満	3,200	—	600	1,000	—	—	—	700	—	3,500	6,700	57.8
	100万円以上250万円未満	3,500	—	—	1,900	—	—	—	—	—	2,700	9,400	81.0
	250万円以上500万円未満	2,700	—	—	1,800	600	—	—	—	—	800	10,200	87.9
	500万円以上1000万円未満	800	—	—	—	—	—	—	—	—	1,400 補完	11,600	100.0
	1000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

2022年

単位：人

都市	所得区分	1. 著述家	2. 彫刻家、 画家、工 芸美術家	3. デザイ ナー	4. 写真家、 映像撮影 者	5. 音楽家	6. 舞踊家、 俳優、演 出家、演 芸家	7. 個人教師 (音楽)	8. 個人教師 (舞踊、 俳優、演 出、演 芸)	芸術家 人口 (累計)		芸術家 人口 (累計%)
										芸術家 人口 (推定値)	芸術家 人口 (累計)	
首都圏都市部	総数	220,800	13,800	19,900	97,000	17,100	13,800	47,100	7,300	4,800		
	100万円未満	38,500	3,900	4,000	10,900	2,200	5,300	5,600	4,900	—	38,500	17.6
	100万円以上250万円未満	45,700	4,200	5,900	17,600	4,200	—	7,400	1,900	2,200	84,200	38.5
	250万円以上500万円未満	76,300	4,000	7,000	39,200	4,600	—	18,000	—	—	160,500	73.4
	500万円以上1000万円未満	47,900	—	—	26,200	5,500	3,600	9,800	—	—	208,400	95.3
	1000万円以上	10,300	—	—	—	—	—	5,900	—	—	218,700	100.0
大阪市	総数	16,000	—	—	8,700	—	—	2,800	1,500	—		
	100万円未満	3,800	—	—	—	—	—	—	—	—	3,800	23.8
	100万円以上250万円未満	3,400	—	—	—	—	—	—	—	—	7,200	45.0
	250万円以上500万円未満	6,800	—	—	5,600	—	—	—	—	—	14,000	87.5
	500万円以上1000万円未満	2,000	—	—	—	—	—	—	—	—	16,000	100.0
	1000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	0補完	16,000	100.0
京都市	総数	13,000	—	1,500	6,300	1,900	1,000	—	1,300	—		
	100万円未満	3,400	—	1,500	—	—	—	—	—	—	3,400	26.2
	100万円以上250万円未満	3,900	—	—	2,100	—	—	—	—	—	7,300	56.2
	250万円以上500万円未満	3,900	—	—	2,900	—	—	—	—	—	11,200	86.2
	500万円以上1000万円未満	1,100	—	—	—	—	—	—	—	—	12,300	94.6
	1000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	700補完	13,000	100.0

※首都圏都市部＝さいたま市・千葉市・特別区部（東京23区）・横浜市・川崎市・相模原市

※「－」は標本数が5人未満で、対象者のプライバシー保護のために表示されないことを示す。右端の芸術家人口には総数や所得区分ごとの人口を用いた推定値が含まれている。

※所得区分ごとの人口の合計は「不詳」ケースの算入や四捨五入の関係で一般に「総数」に一致しない。しかしズレはわずであることが首都圏都市部でわかっており（所得区分ごとの人口の合計が

総数より2007年は1.2%、2022年は1.0%少ない）、補完の計算に「総数」欄を用いたうえ、累計%の算出は所得区分ごとの人口の合計に対して行った。

